

2027年卒

# 4月1日時点の就職活動調査〈速報〉

キャリタス就活 学生モニター2027 調査結果 (2026年4月発行)

2027年卒の採用広報解禁から1カ月。就職戦線はどのように進んでいるだろうか。キャリタス就活・学生モニターを対象に、4月1日現在の就職活動状況について調査を行った。内定状況など多岐にわたる項目を調査したが、取り急ぎ主要指標のみ紹介したい。

## 1. 4月1日時点の内定<sup>(※)</sup>状況

- 内定率は67.6%。前年同期実績(64.9%)を2.7ポイント上回る
- 就職先を決めて活動を終了したのは全体の2割強(22.1%)。7割が就職活動継続(計72.4%)

## 2. エントリー状況、選考試験受験状況

- 一人あたりのエントリー社数の平均は19.2社。前年同期調査(21.8社)より2.6社減少
- ES提出社数は前年を上回る(平均9.7社→10.7社)。筆記試験と面接社数もそれぞれ増加

## 3. 内定を得ている企業の位置づけ

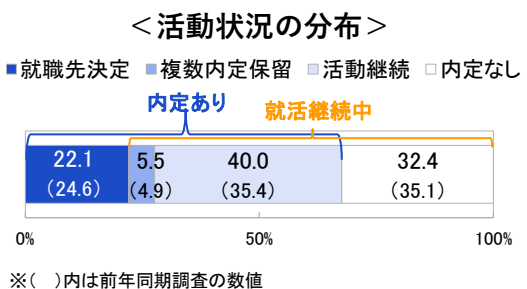
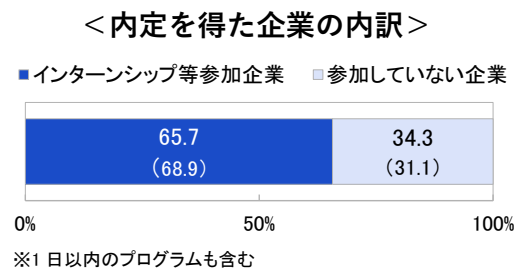
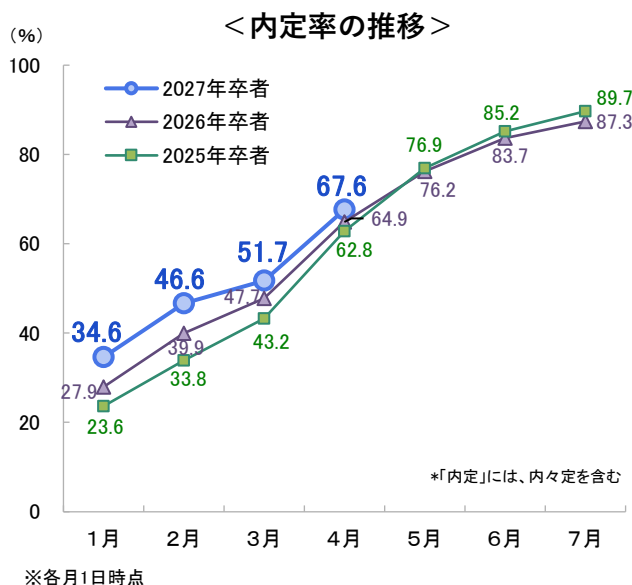
- 「この企業に入ると思う」12.0%。前年同期調査(16.2%)より減少
- 「他に内定が出なければ納得して入ると思う」は55.0%

※「内定」には、内々定を含む

## 1. 4月1日時点の内定状況

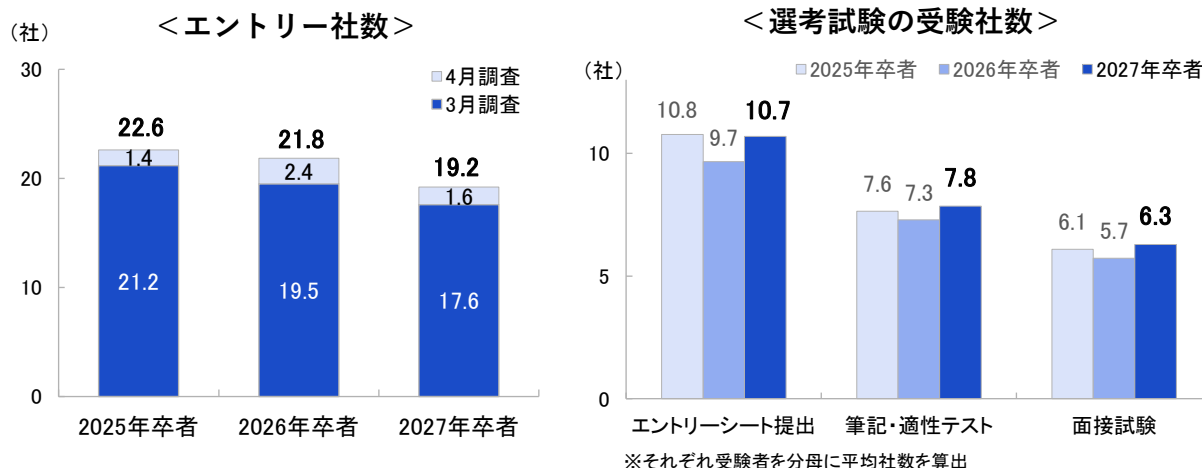
4月1日の調査時点で内定を得ている学生は全体の67.6%。先月調査(3月1日)の51.7%から1カ月間で15.9ポイント増え、7割近くに達した。解禁を境に就職戦線が大きく動いた様子を読み取れる。前年同期(64.9%)との差は2.7ポイント。2月調査以降、前年同月との差は徐々に縮まってきているものの、ここまで前年を上回る数字で推移している。

内定率は前年より高いものの、就職先を決めて活動を終了した者はモニター全体の22.1%と、前年同期実績(24.6%)を下回った。その分、内定を持ちながら活動を継続する学生が増えた(35.4%→40.0%)。



## 2. エントリー状況、選考試験受験状況

ここまでの活動量を見てみる。一人あたりのエントリー社数の平均は19.2社。この1カ月の増え幅は1.6社にとどまり、3月調査に引き続き前年同期実績を下回った。一方で、ES提出社数や筆記試験、面接の受験社数は前年同期を上回っている。

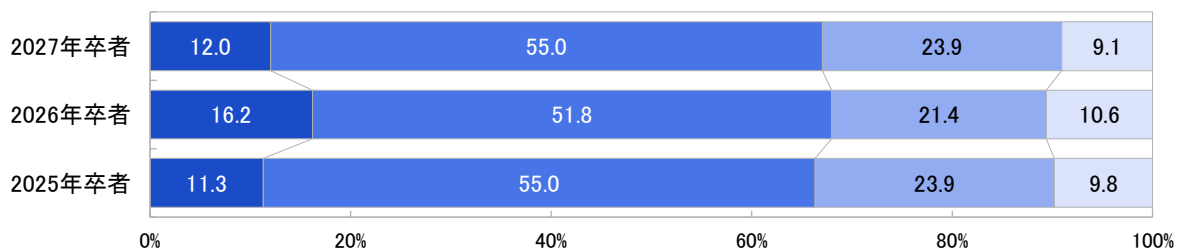


## 3. 内定を得ている企業の位置づけ

内定を持ちながら就職活動をしている学生（全体の40.0%）に、内定企業をどのように位置付けているのかを尋ねた。「満足度が高く、納得感もあるので、この企業に入りたい」と、ほぼ入社を決めているのは約1割（12.0%）で、前年同期（16.2%）を下回った。最も多いのは「それなりに満足しているので、他に内定が出なければ納得して入りたい」という回答で、過半数に上る（55.0%）。入社に前向きながらも、より志望度の高い企業の結果次第とする学生が多いことがわかる。

### <内定を得ている企業の位置づけ>

- 満足度が高く、納得感もあるので、この企業に入りたいと思う
- それなりに満足しているので、他に内定が出なければ納得して入りたいと思う
- 満足度は高くないが、他に内定が出なければ、この企業に入りたいと思う
- あくまで押さえであり、実際にこの企業に入ることはないと思う



## 調査概要

- 調査対象：2027年3月に卒業予定の大学4年生（理系は大学院修士課程2年生含む）
- 回答者数：1,057人（文系男子223人、文系女子481人、理系男子186人、理系女子167人）
- 調査方法：インターネット調査法
- 調査期間：2026年4月1日～6日
- サンプリング：キャリアス就活 学生モニター2027
- 調査実施：株式会社キャリアス/キャリアスリサーチ